教育・子ども若者・警察常任委員会　資料３
令和８年（２０２６年）１０月８日
高校教育課魅力ある高校づくり推進室

これからの県立高等学校の在り方にかかる検討について

令和８年(2026年)10月８日

滋賀県教育委員会事務局
高校教育課　魅力ある高校づくり推進室

高等学校教育の課題

1　少子化による人口減少・人口偏在の進行

○ 滋賀県の15歳人口は今後急速に減少していくことが見込まれる

2026年（令和８年）　13,624人
2040年（令和22年）　9,235人

4,389人減の見通し：約110クラス減に相当（１クラス定員40人で計算）

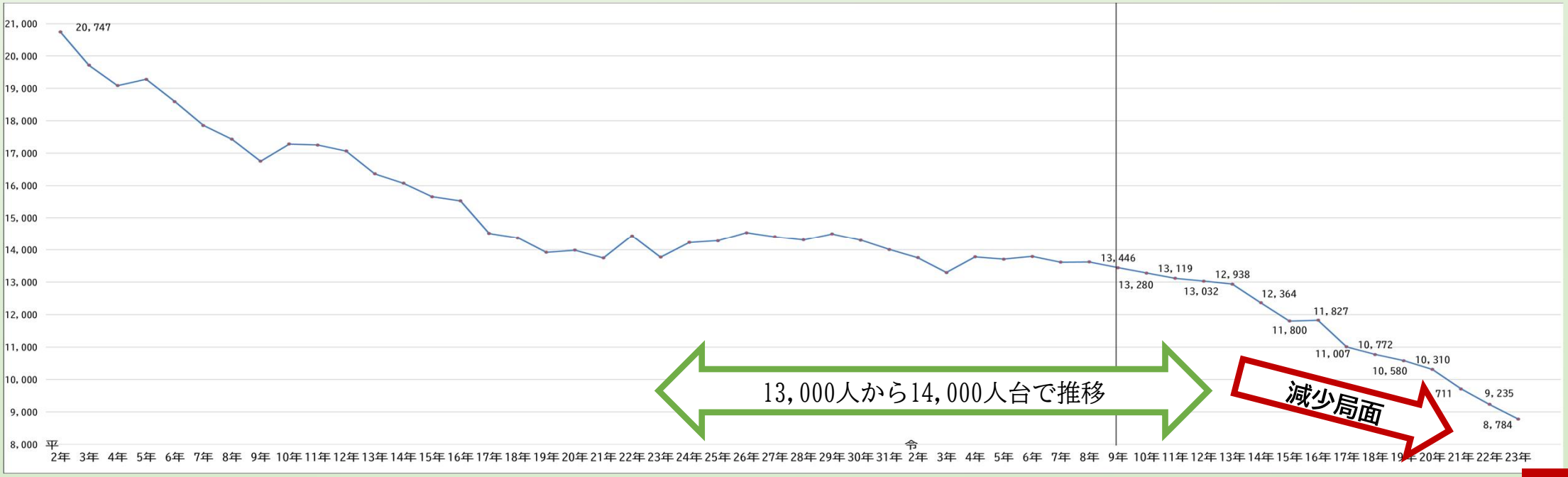
中学校および義務教育学校卒業（予定）者数の推移

令和８年６月版

卒業年	平成 2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	令和 2年	3年
全県計	20,747	19,715	19,088	19,279	18,592	17,859	17,432	16,750	17,283	17,251	17,068	16,361	16,073	15,655	15,526	14,515	14,370	13,922	13,988	13,746	14,439	13,773	14,226	14,281	14,537	14,411	14,310	14,500	14,299	14,007	13,753	13,297

※H31から義務教育学校を含む
※R18以降は県人口推計値

卒業年	現高1 4年	現中3 5年	現中2 6年	現中1 7年	現小6 8年	現小5 9年	現小4 10年	現小3 11年	現小2 12年	現小1 13年	現5歳 14年	現4歳 15年	現3歳 16年	現2歳 17年	現1歳 18年	現0歳 19年	20年	21年	22年	23年
全県計	13,781	13,710	13,794	13,615	13,624	13,446	13,280	13,119	13,032	12,938	12,364	11,800	11,827	11,007	10,772	10,580	10,310	9,711	9,235	8,784
R8比較						▲ 178	▲ 344	▲ 505	▲ 592	▲ 686	▲ 1,260	▲ 1,824	▲ 1,797	▲ 2,617	▲ 2,852	▲ 3,044	▲ 3,314	▲ 3,913	▲ 4,389	▲ 4,840
前年度比較						▲ 178	▲ 166	▲ 161	▲ 87	▲ 94	▲ 574	▲ 564	27	▲ 820	▲ 235	▲ 192	▲ 270	▲ 599	▲ 476	▲ 451



※　令和８年～令和17年は、令和８年５月１日の学校基本調査による現員
※　令和18年以降は、令和８年４月１日付けの県人口推計（統計課）による

高等学校教育の課題

2　国による高校授業料無償化の拡大

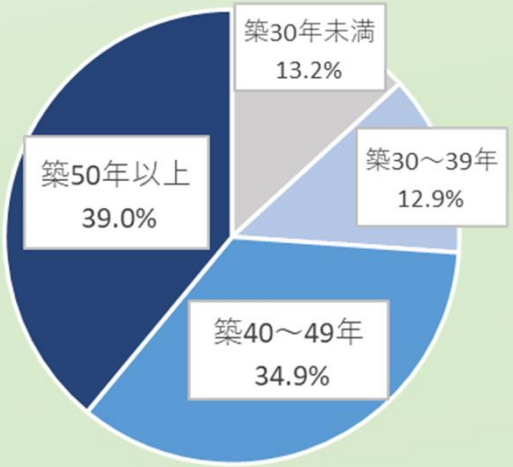
○ 国は、令和８年度から全世帯を対象とした高校授業料の無償化の拡大

- 授業料無償化の拡大により、公立・私立を問わず経済的負担が軽減
- 県立全日制高校の募集定員に対する平均志望倍率が１倍を切る
- 県内私立全日制高等学校への志望割合が15.9%で過去最高

3　県立高等学校施設・設備の老朽化

○ 県立高校の建物や設備の老朽化が進行しつつあり、その更新・改修等が課題

- 将来的に多くの学校で老朽化による校舎等の改築や大規模改修が必要となると見込まれ、その経費負担等が大きな課題になる
- 県立高校の魅力化の観点から、良好な教育環境を向上するために施設・設備の充実化を図る必要がある
（専門的な学びに対応した設備機器、体育館空調など）



建物（延床面積）の構成比

高等学校教育の課題

4　学びの多様化への対応

○ 学習ニーズの多様化

- 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた学びの多様化への対応
- 不登校生徒の増加に伴う対応や、外国人生徒等の多様な学びへの対応

○ 地域とのつながりによる学びの展開

- 地域や企業との交流や地域人材の活用等による高校教育の魅力化
- 地域課題の解決に主体的にかかわる、地域の将来を支える人材の育成
- 地域の小中高の学校段階間の円滑な接続

多様な生徒一人ひとりが『滋賀』という地域から学び、社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進めるとともに、時代に合わせた新たな学び、県立高等学校の配置の在り方等を検討し、生徒、保護者から進学先として選択いただける、魅力ある高校づくりを進めていく必要がある

これまでの意見等から見えてきた高校教育の「リ・デザイン」

活力ある県立高校づくりに向けた取組

1．地域との連携・協働の推進

○ 先導改革拠点校でのコーディネーター等の配置による地域との協働体制の構築
○ 地域と連携したキャリア教育や地域課題を探究する学びの充実
○ 地域の経済・社会の発展を支える人材循環が生まれる学びの場づくり
○ 小中学校と連携した地域での教育活動の推進
○ 連携型中高一貫教育校の検討

【在り方検討委員会での意見】

- 実践型教育、産業教育は、外部の人（コーディネーター）との連携・接続しながら進める必要がある。（教員の余白づくりにもつながる）
- 高校を通じて積極的に地域活動にかかわる仕組みが必要

【他県の事例】

- 地域との協働体制（高校魅力化コンソーシアム）の構築およびコーディネーター配置の推進
- 地域の実情に応じて、地元中学校との交流活動や、小中高の一貫性に配慮したキャリア教育の実施など、異なる学校種間の連携を行う

2．時代に対応した特色ある学びの推進

○ 先導改革拠点校での文理にとらわれない新しい価値を創造する学びの推進
○ 専門学科における地元産業界との連携・協働した取組の推進

【在り方検討委員会での意見】

- 急速な社会の変化に対応しつつ、社会から求められる人材を育てる学びの場の構築が必要

【他県の事例】

- 普通系学科と併設する職業系専門学科を開設
- 普通系学科・総合学科のコースや選択科目を開設

3．多様な学習ニーズに対応した学びの場づくり

○ 先導改革拠点校でのサテライト校の設置、日本語指導を必要とする生徒への日本語プログラムの充実、基礎学力の定着に向けた取組の強化
○ 一人ひとりの多様な学習ニーズに対応した学校間連携等、教育機会の確保
○ 「安心できる居場所」となる学びの場の確保

【在り方検討委員会での意見】

- 最初から明確にこういう支援が受けられる学校ということを提示した入試制度が生徒と学校の双方にとって良いのではないか
- 人的にも限られたスキル・資源を集中させ、拠点校を設置した学びの支援を行う仕組みの構築が重要
- サテライト制の導入に加え、県が有する支援機関とのネットワークを活用した学びの提供が必要

【他県の事例】

- 地域バランスを考慮し、生徒一人一人の学習を支援できるよう柔軟な学習時間やカリキュラム設定など、生徒の多様な生活・学習スタイルに対応した高校や、多部制定時制高校、通信制高校を配置

これまでの意見等から見えてきた高校教育の「リ・デザイン」

人口減少を見据えた発展的な再編

1．全県域、各圏域内での学校の役割や特色の再設計

○ 全県的に俯瞰した学校・学科配置と、各圏域の学びの充実を目的とした学校・学科配置の検討
○ キャンパス制の検討

【在り方検討委員会での意見】
- 各地域での学校、全県の中でシンボリックな学校の役割を明確化すべき
- 全県域、各地域・ブロック毎に、学校の役割や特色を明確化する必要がある
- 小規模校が複数並存する場合、各校の特色化や機能分担、キャンパス制等の運営統合を含めた再設計が必要

【他県の事例】
- 市町村に唯一所在する小規模校は、その特性や社会的役割を考慮
- 小規模校のメリットを活かし、学校間連携、生徒・教職員の交流により各キャンパスを一体的に運営するキャンパス制を導入

2．学校規模、学級規模の考え方の整理

○ 全県域、各圏域内での学校の役割や特色の再設計とあわせて、望ましい学級規模の検討

【在り方検討委員会での意見】
- 規模が小さくなると、教育の質・中身が単純化されてしまう懸念がある
- 探究を深めていくために必要な学級規模を想定する必要がある

【他県の事例】
- 全校を対象とした計画的な学級減を実施
- 少人数学級編制（１学級40人未満）の本格的な導入を検討

3．発展的な再編の考え方の整理

○ 通学面も配慮した生徒の多様な学びの選択肢を提供できる配置の検討
○ 現在の高校施設を活用しつつ、学校間連携などを考慮した発展的な再編を検討
○ 魅力化プランで示す各県立高校における魅力化の方向性を基に、各地域における配置の在り方を地域ぐるみで検討

【在り方検討委員会での意見】
- 統廃合という単なる縮小というイメージではなく、新たに学校を作り直す（再編する）イメージで進める必要がある
- 地域の強みを活かした「特徴ある統合」を目指すべき

【他県の事例】
- 地域における学びの充実を目的とした、学科や学校の発展的統合も検討
- 柔軟で創造的な教育課程の実現のため、単位制の導入拡大も併せて検討
- 定員割れによる学級減、統廃合の基準を策定

※魅力化特例校（１学年３学級以下の高校で、学校存続のために地域から必要な支援や評価が得られている学校）に認定された場合は適用除外

令和８年度のスケジュール

附属機関「滋賀県立高等学校在り方検討委員会」の開催

令和8年 6月～	部会の設置（オンライン開催） 「普通科高校等部会」「産業教育部会」「多様な学習ニーズ部会」
令和8年 7月10日	第３回滋賀県立高等学校在り方検討委員会 ・「(仮称)滋賀県における高等学校教育と県立高等学校に関する将来ビジョン」の策定に向けた考え方について
令和8年11月頃	第４回滋賀県立高等学校在り方検討委員会 ・骨子案について
令和8年12月頃	第５回滋賀県立高等学校在り方検討委員会 ・答申（素案）について
令和9年 1月頃	第６回滋賀県立高等学校在り方検討委員会 ・答申（案）について

ヒアリング

〇高校生、大学生、保護者等、私立高等学校、大学、子育て支援団体、不登校相談支援団体、その他各種団体（教育関係団体、経済関係団体 等）、市町、市町教育委員会、学習塾、県立高等学校管理職、教員　等

アンケート

〇生徒・保護者対象アンケート（対象：高校生、中学生、保護者）
〇県民対象アンケート

附属機関「滋賀県産業教育審議会」の開催

令和8年　7月15日	第１回滋賀県産業教育審議会
令和8年 11月頃	第２回滋賀県産業教育審議会
令和8年 12月頃	第３回滋賀県産業教育審議会

「しがの高校リ・デザイン 県民ワークショップ」の開催

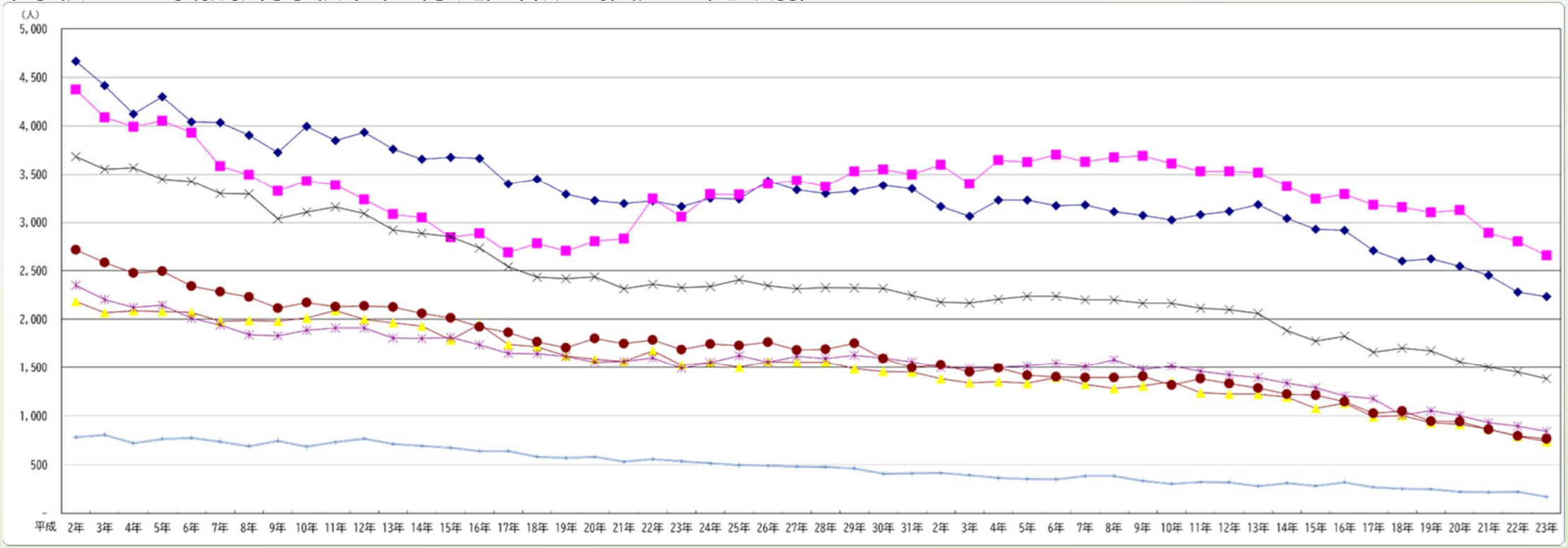
第１回	令和8年 9月23日	（滋賀県庁）	第４回	10月24日	（彦根市）
第２回	10月 4日	（高島市）	第５回	11月 1日	（東近江市）
第３回	10月11日	（長浜市）	第６回	11月 3日	（甲賀市）

〇令和8年12月(予定)･･･ 県民政策コメントの実施

〇令和9年　3月(予定)･･･ (仮称)滋賀県における高等学校教育と県立高等学校に関する将来ビジョンの策定･公表
(仮称)滋賀県高等学校教育改革実行計画の策定･公表

参考資料

中学校および義務教育学校卒業（予定）者数の推移　（地域別）



令和８年度卒業者数を 100 としたときの割合

	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3	R16.3	R17.3	R18.3	R19.3	R20.3	R21.3	R22.3	R23.3
大津地域	100.0	98.8	97.3	99.0	100.1	102.4	97.8	94.1	93.8	87.1	83.7	84.4	81.9	79.0	73.3	71.8
南部地域	100.0	100.5	98.2	96.1	96.1	95.8	91.9	88.2	89.6	86.5	85.9	84.5	85.1	78.6	76.2	72.3
甲賀地域	100.0	102.1	105.2	96.6	95.5	95.5	93.1	84.0	88.1	77.4	78.2	72.6	71.3	67.3	61.7	57.5
東近江地域	100.0	98.5	98.4	96.2	95.4	93.6	85.7	80.7	83.0	75.4	77.4	76.2	71.0	68.3	66.0	62.8
湖東地域	100.0	93.0	95.6	92.2	89.7	87.9	84.4	81.4	75.9	74.3	63.6	66.6	63.4	58.7	56.7	53.2
湖北地域	100.0	100.7	94.4	99.1	95.4	92.1	87.7	87.0	82.3	73.7	75.4	67.8	67.4	61.6	57.1	54.7
高島地域	100.0	87.0	79.0	83.4	83.2	73.1	81.1	73.3	82.9	69.7	66.1	65.0	57.3	56.2	57.3	44.6
計	100.0	98.7	97.5	96.3	95.7	95.0	90.8	86.6	86.8	80.8	79.1	77.7	75.7	71.3	67.8	64.5

参考資料

令和７年３月県内中学・義務教育学校卒業者における卒業後の進路状況

各市町別の各地域別進学割合　（%）

出身市町＼進学先		大津地域	南部地域	甲賀地域	東近江地域	湖東地域	湖北地域	高島地域	県外	計
大津	大津市	60.9	17.8	0.3	0.9	1.0	0.4	0.9	17.8	100.0
南部	草津市	29.3	50.1	1.4	3.3	1.8	0.6	0.2	13.3	100.0
	守山市	18.7	57.4	1.3	7.9	3.9	0.3	0.0	10.5	100.0
	栗東市	18.3	60.3	5.3	3.0	3.5	0.2	0.2	9.2	100.0
	野洲市	21.6	35.6	1.9	23.9	6.8	0.4	0.0	9.8	100.0
甲賀	湖南市	10.9	26.8	47.9	5.8	1.3	0.0	0.0	7.3	100.0
	甲賀市	10.4	13.3	56.4	11.4	0.7	0.0	0.0	7.8	100.0
東近江	近江八幡市	6.8	14.9	0.6	53.0	16.5	1.7	0.0	6.5	100.0
	東近江市	2.4	5.2	2.9	66.3	17.4	1.5	0.1	4.2	100.0
	日野町	1.7	3.4	25.4	61.6	2.8	0.0	0.0	5.1	100.0
	竜王町	9.2	16.0	2.5	58.0	8.4	0.0	0.0	5.9	100.0
湖東	彦根市	2.2	5.5	0.0	15.1	55.5	15.8	0.0	5.9	100.0
	愛荘町	0.8	7.6	0.0	36.7	45.3	2.4	0.0	7.2	100.0
	豊郷町	0.0	3.2	0.0	27.4	63.0	1.6	0.0	4.8	100.0
	甲良町	0.0	10.9	1.8	34.5	43.7	7.3	0.0	1.8	100.0
	多賀町	0.0	4.5	0.0	25.4	44.7	16.4	0.0	9.0	100.0
湖北	長浜市	1.9	1.5	0.1	2.5	14.7	72.3	0.4	6.6	100.0
	米原市	1.1	2.8	0.0	2.8	27.8	61.0	0.0	4.5	100.0
高島	高島市	17.5	2.2	0.0	0.8	1.1	6.2	60.3	11.9	100.0

参考資料

県内外全日制高等学校進学状況

全日制高校への進学者数

入試年度	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
県立高校	10,280	10,361	10,135	9,877	9,486	9,075	9,385	9,264	9,279	9,061	8,689
割合	72.58	72.10	71.53	71.05	69.58	68.80	68.72	68.21	67.95	67.28	64.47
県内私立	2,292	2,441	2,447	2,264	2,416	2,417	2,436	2,366	2,410	2,374	2,646
割合	16.18	16.99	17.27	16.29	17.72	18.32	17.84	17.42	17.65	17.63	19.63
県外私立	701	704	744	808	812	766	782	839	789	814	902
割合	4.95	4.90	5.25	5.81	5.96	5.81	5.73	6.18	5.78	6.04	6.69
京都	556	534	562	640	639	617	605	650	585	581	660
割合	3.93	3.72	3.97	4.60	4.69	4.68	4.43	4.79	4.28	4.31	4.90
大阪	29	29	28	30	24	26	39	35	34	34	37
割合	0.20	0.20	0.20	0.22	0.18	0.20	0.29	0.26	0.25	0.25	0.27
京都、大阪以外	145	170	182	168	173	149	177	189	204	233	242
割合	1.02	1.18	1.28	1.21	1.27	1.13	1.30	1.39	1.49	1.73	1.80
通信制高校	251	281	278	378	377	396	504	577	620	647	668
割合	1.77	1.96	1.96	2.72	2.77	3.00	3.69	4.25	4.54	4.80	4.96
県内	118	133	133	164	148	137	192	219	224	250	265
割合	0.83	0.93	0.94	1.18	1.09	1.04	1.41	1.61	1.64	1.86	1.97
県外					9	11	12	7	6	3	24
割合	0	0	0	0	0.07	0.08	0.09	0.05	0.04	0.02	0.18
広域通信					220	248	300	351	390	394	379
割合	0	0	0	0	1.61	1.88	2.20	2.58	2.86	2.93	2.81
高等学校等進学者数	14,163	14,370	14,168	13,902	13,633	13,191	13,656	13,581	13,655	13,467	13,478

※上段：人数
※下段：高等学校等進学者に対する割合

参考資料

高等学校等進学割合

	県立 全日制	県立 定時制	県立 通信制	県内私立 全日制	県内私立 定時制	県内私立 通信制	県外国立 全日制	県外公立 全日制	県外私立 全日制	県外 定時制	県外 通信制	高等専門 学校
大津市	53.1%	1.2%	1.1%	22.9%	0.7%	0.6%	0.1%	1.2%	12.7%		3.9%	0.6%
草津市	59.9%	0.8%	0.6%	20.9%	0.8%	1.9%		0.5%	10.1%		2.9%	0.5%
守山市	56.7%	1.0%	0.3%	29.5%	0.5%	1.3%		0.2%	5.8%		2.7%	0.6%
栗東市	68.0%	1.1%	1.1%	15.8%	0.5%	1.9%		0.5%	6.9%		3.3%	0.5%
野洲市	63.4%	0.8%	0.4%	22.0%	0.4%	1.9%		0.6%	5.6%		2.7%	
南　部　計	60.7%	0.9%	0.6%	23.0%	0.6%	1.7%		0.4%	7.5%		2.9%	0.5%
湖南市	71.1%	1.3%	1.7%	13.8%	1.0%	1.0%		0.6%	2.9%		3.3%	
甲賀市	79.6%	0.1%	0.5%	9.9%	0.9%	1.7%		0.4%	3.3%		2.3%	0.1%
甲　賀　計	76.4%	0.6%	1.0%	11.4%	1.0%	1.4%		0.5%	3.2%		2.7%	0.1%
近江八幡市	61.8%	0.9%	0.1%	25.5%	0.5%	2.1%		0.4%	4.1%		3.2%	0.7%
東近江市	70.6%	1.5%		19.3%	0.6%	1.9%		0.1%	2.3%		1.6%	0.6%
日野町	75.9%		0.5%	11.2%		6.4%		0.5%	1.6%		1.1%	
竜王町	77.9%	1.0%		14.4%		1.0%			5.8%			
東近江　計	68.0%	1.1%	0.1%	20.8%	0.5%	2.4%		0.2%	3.1%		2.1%	0.6%
彦根市	68.4%	1.2%	1.0%	19.2%	0.3%	1.3%		0.3%	2.8%		3.3%	0.7%
愛荘町	77.7%	0.8%		14.7%	0.4%	0.4%		0.4%	1.2%		1.6%	0.8%
豊郷町	58.6%	2.3%	1.1%	25.3%		2.3%			2.3%		6.9%	
甲良町	63.0%			30.4%					4.3%		2.2%	
多賀町	69.2%	3.1%		18.5%					6.2%		1.5%	1.5%
湖　東　計	69.2%	1.3%	0.8%	19.1%	0.3%	1.1%		0.3%	2.7%		3.1%	0.7%
長浜市	77.1%	1.3%	0.8%	10.9%	0.3%	0.2%		0.8%	3.5%	0.1%	2.8%	0.6%
米原市	77.7%	1.0%		10.8%	0.3%	0.3%		1.3%	3.8%		2.5%	1.6%
湖　北　計	77.1%	1.1%	0.6%	10.8%	0.3%	0.2%		0.9%	3.7%	0.1%	2.8%	0.8%
高島市	67.2%		0.5%	15.0%	0.3%	1.0%		0.8%	8.9%		3.4%	1.8%
全　　体	64.5%	1.0%	0.7%	19.6%	0.5%	1.3%	0.0%	0.6%	6.7%	0.0%	3.0%	0.6%

参考資料

地域別学級数の見通し（全日制）

（学級）

	R8	R9
大津地域	57	56
南部地域	53	50
甲賀地域	23	22
東近江地域	35	34
湖東地域	30	28
湖北地域	31	30
高島地域	8	7
計	237	227

（学級）

R15
51～56
43～48
16～21
29～31
23～26
25～29
5～6
192～217

（学級）

R22
41～45
36～44
12～17
23～25
17～21
17～21
4～6
150～179

（見通し作成の考え方）

各県立高等学校における市町別在籍生徒割合（R6～R8平均）に、令和15年度および令和22年度の卒業予定者数を掛け合わせて生徒数見込を試算し、１学級40人編成を前提として、学級数の見通しを算出し、地域別にまとめたものです。

最大値：現在の学校数・学科設置状況を前提として、学校・学科ごとの学級数の見通しを算出し、地域別に集計
最小値：地域別に通学見込生徒数を合算し、１学級40人編成を前提として、学級数の見通しを算出